

AT●4NEN

あと4年 未来を守れるのは今

環境と未来を守るための
署名に参加してください

どんどん激しくなる異常気象や増える自然災害に危機感を覚えていますか？地球の将来を想像して、不安に感じないでしょうか？私たちがいま普通に暮らしているこの瞬間も、地球の気温上昇はジリジリと加速しています。そして、これまで長い間、科学者たちが警告してきた、人間や他の生き物たちが今まで通りに暮らせない未来が、すぐそこまで迫っているのです。このキャンペーンに集まる声が大きければ大きいほど、未来を守れる可能性は高くなります。ぜひ、私たちのアクションと一緒に参加してください。

署名はここから↓



HOW

どうやって問題を解決するの？

5つの要望事項



透明性

気候・エネルギー政策の見直しは、若い世代を参加させ民主的で透明なプロセスで行うこと。



削減目標

2030年までの温室効果ガス排出削減目標は、2010年比で少なくとも50%以上削減とすること。



電源構成

2030年の電源構成は、省エネを第一に石炭火力と原発はゼロ、再エネ50%以上とすること。



原子力

原子力の利用をやめ、新增設や新型炉の開発は中止すること。



確実性

不確実で環境・社会影響が懸念される二酸化炭素回収・貯留などには頼らないこと。

菅義偉 内閣総理大臣
梶山弘志 経済産業大臣
小泉進次郎 環境大臣
河野太郎 行政改革担当大臣

CC: 総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会 白石隆 分科会長・委員各位
CC: 中央環境審議会地球環境部会 三村信男 部会長・委員各位

化石燃料も原発も使わない、持続可能な再エネ100%の 気候・エネルギー政策を求めます

気候危機はすでに現実化しています。国際条約「パリ協定」では、世界の平均気温上昇を産業革命前に比べて1.5℃に抑える目標が定められています。科学者たちは、1.5℃以上の場合、気候災害がさらに深刻化し、悲劇的な生態系の崩壊が起こると警告しています。

政府は現在、「エネルギー基本計画」と「地球温暖化対策計画」を見直しています。菅首相は、2050年までに温室効果ガスを実質排出ゼロにすると宣言しましたが、そのための具体策となる2つの計画は、1.5℃目標に沿うように再エネ100%とする必要があります。

また、2021年には東京電力福島第一原発事故から10年を迎えますが、事故の被害はいまだに続いています。核廃棄物の最終処分についても全く見通しが立っていません。原発や不確実な技術に頼らず、先進国の責任として脱炭素社会に向けて経済・産業構造や暮らしを抜本的に変える必要があります。

これからの世代に希望ある社会を残すために、私たちは、以下を要望します。

要望事項

1. 気候・エネルギー政策の見直しは、若い世代を参加させ民主的で透明なプロセスで行うこと。
2. 2030年までの温室効果ガス排出削減目標は、2010年比で少なくとも50%以上削減とすること。
3. 2030年の電源構成は、省エネを第一に石炭火力と原発はゼロ、再エネ50%以上とすること。
4. 原子力の利用をやめ、新增設や新型炉の開発は中止すること。
5. 不確実で環境・社会影響が懸念される二酸化炭素回収・貯留などには頼らないこと。

氏名	都道府県	住所

「あと4年、未来を守るのは今」キャンペーン <http://ato4nen.com/>

呼びかけ団体：350.org Japan、CAN-Japan、e シフト、Fridays For Future Fukuoka、Fridays For Future Kagoshima、Fridays For Future Kyoto、Fridays For Future Nasu、Fridays For Future Osaka、Fridays For Future Shizuoka、Fridays For Future Yokosuka、Green TEA、Protect Our Winters Japan、PV-Net、Spiral Club、環境エネルギー政策研究所、気候ネットワーク、グリーン連合、原子力資料情報室、原水禁、国際環境 NGO FoE Japan、国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン、市民電力連絡会、ピースポート（数字、アルファベット、50音順、12月21日時点）

署名締め切り：第一次集約：2021年1月31日、第二次集約：3月15日（予定）、最終集約：状況に応じて
送付先：350.org Japan 〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-15-3 問合せ：03-6909-5983（FoE Japan）

（取り扱い団体） NPO法人ポラン広場東京
署名締切：2021年4月16日（金）回収分まで